

讀者の領分

注意
長文及水彩畫に無關係のものには御覽り。
○印は編者の答、括弧の要熟のみを掲ぐ。

■ソロ／＼、當欄に繪葉書交換が出て来たが返書をしなげな人はないてせうな○前號みどり生の説大賛成(長野、ねづみ、田舎に居ると門外一步好畫圖であるが何故か繪の具がワットマンに着きあがるい阿々(湖南山樵)前號の景色速寫法は嬉しく拜見この種の説明を續々御出下さい○歌や俳句は多く歡迎せられぬやう願ふ(伯耆幽溪生)從來日本畫(こまかき)及圖案を描いておましたが將來洋畫の研究に弊害となりますか夫とも階梯となりますか(青山K生)○活用すれば益になります■御交際を望む同時に自筆繪葉書の交換を希望します未熟ながら屹度返信します(下總八日市場笹井健)■寫生會はいつあるの(麻布T生)○四月頃になりませう■1臨時増刊の募集畫は木炭紙に書きしものにて、差支なきや2天下先生の東西社の繪ハガキ目錄を御示ありたし3水彩畫に金や銀を使用してよろしきや4競技會には技術、意匠何れか一方にても出品差支なきや(曙町黙蛙生)○1差支なし2風景の方は小田原の新年、多摩川の月、晚

秋、靜物畫は琴、柘榴、書籍3前號狐屋生への答の通り、4差支なし■水彩畫の繪葉書及スケッチの交換を願ふ答禮必ず(福岡縣糟屋郡新宮、荒木駒雄)■風景畫帖の印刷の立派なものには感服しました希くは第二集を出されんを(京都S S S)■田舎に居ては教師もなく肉筆も見られず上達の意がないそれで繪葉書の交換を願つたら各地から畫を寄せられて中には立派な作品がある夫々相當の答禮をせねばならぬ爲め自然奮發して單獨にやつてあるよしといふ不徳義漢があるが『みつゑ』讀者にはそのやうな人はない事と信ずる(松山市松前町三浦方筒井藪唐坊)■1眞野氏は遠近法に關する質問に應答すべしと有升が一間の答て有ますか又は有る冊本にても有るのですか2景色寫生に鏡が必用だといいが應用法如何(越中、鶯枝)○1御質問の旨趣不明瞭2凹鏡は實景の細部を模糊たらしむるものなれど敢て必要品といふ程にあらず■丸山氏の歐米畫堂巡禮物語を掲載しては如何(城西みどり生)■1紙数を増加するは賛成なれど不體裁にならぬやうに2注文は小爲換にてよろしきや(美濃大原生)○1紙質は是迄通りのつもり2小爲換にても銀行爲換にても差支なし■1増刊に出す畫稿は靜物寫生に

ても可なるや2作品は小包の他に送る道なきや3コバルトとコバルトブルーとは同一物なりや(陸前K、Y生)○1靜物にてても可2四種郵便にても可なり3同一なりコバルトブルースカイは別なり■讀者諸君のうち美術新報の古本を不用な方があれば相當の品と交換又は御譲りを希ひます次にエハガキ交換も願ひます(石見濱田中學寄宿舎後藤孤崖)

彩光會 舊パシフィック會

『みつゑ』第六に掲載せられたる、本會は、會員左の如く、増加したり、即ち、林博、濱田文太郎、長谷友次郎、徳永三都夫、高橋廣一、村田俊吉六名にして、總會員數十三名なり。■第一回展覽會 十一月第二土曜日に開會出品繪畫二十二點 投票の結果 武田筆鎮守壹等に當撰したり而して本會名稱を『彩光會』と改めたり右繪畫は雜誌に綴り『パシフィック』と名けたり■第二回展覽會 十二月第二土曜日に開會出品繪畫二十四點 投票の結果 宮田筆磯邊の朝雲等に當撰せり右繪は例により雜誌に綴り之に『冬枯』と名稱を下せり■第三回展覽會 一月二十日開會出品數四十八點、壹等は川原筆激浪右雜誌は體裁を改め『若水』と稱す■第四回展覽會 二月十日開會、出品數二十九點 當選繪は壹等 河原筆多摩川の夕終つて繪葉書即席製造交換をなして 散會せり(彩光會委員報告)